

オスプレイ欠陥を抱えたまま飛行再開

横田基地に配備されているCV-22Bオスプレイは2023年11月29日に鹿児島県屋久島沖で墜落し、米軍はすべてのオスプレイの飛行を停止しました。しかし、エンジンからプロップ・ローターに動力を伝達するギアや一方のエンジンが停止した場合にもう一方のプロップ・ローターに動力を伝えるクラッチやシャフトが連続して壊れる重大な欠陥の根本的解決策がないまま飛行を再開しました。昨年未までに、海兵隊、海軍、空軍、陸上自衛隊のオスプレイがすべて飛行を再開しています。

横田基地のオスプレイ事故前と同様の飛行

横田基地のオスプレイは2023年11月29日屋久島沖で1機墜落し、事故前6機いたのが、5機となりましたが、5機すべてが事故前と同様の飛行を繰り返しています。

今年になってからは、月・水・金の週3日、あるいは火・木の週2日の飛行で、概ね9時に離陸して、埼玉県上空、神奈川県上空を飛び回り、富士演習場へ出かけたり、青森県三沢基地へ出かけたりしています。午後4時頃から2機離陸して、埼玉県上空、神奈川県上空、横田基地周辺を夜9時50分頃まで飛び回っています。



2機いっしょに離陸



地上約30mでホバリング・ホイスト訓練



重機関銃を住宅地に向けて飛行